2021年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月２日

上 場 会 社 名　カルビー株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2229　URL　https://www.calbee.co.jp
代　表　者　（役職名）　代表取締役社長兼CEO（氏名）　伊藤　秀二
問合せ先責任者　（役職名）　専務取締役兼CFO　（氏名）　菊地　耕一　(TEL) 03-5220-6222
四半期報告書提出予定日　2020年11月10日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け電話会議 ）

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第２四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第２四半期	130,947	4.6	13,013	△1.8	12,749	△0.5	8,223	△6.8
2020年３月期第２四半期	125,246	3.5	13,258	12.9	12,819	2.1	8,820	△8.4

（注）包括利益 2021年３月期第２四半期 8,792百万円（　17.5%）2020年３月期第２四半期　7,481百万円（△29.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2021年３月期第２四半期	61.52	―
2020年３月期第２四半期	65.99	65.98

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年３月期第２四半期	222,290	171,782	74.1
2020年３月期	214,967	169,632	75.9

（参考）自己資本 2021年３月期第２四半期 164,800百万円　2020年３月期 163,242百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2020年３月期	―	0.00	―	50.00	50.00
2021年３月期	―	0.00			
2021年３月期（予想）			―	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	3.5	26,500	△4.2	26,000	△5.1	16,200	△7.6	121.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　－社（社名）－　　、除外　　－社（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期２Ｑ	133,929,800株	2020年３月期	133,929,800株
②　期末自己株式数	2021年３月期２Ｑ	289,176株	2020年３月期	254,501株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期２Ｑ	133,665,184株	2020年３月期２Ｑ	133,663,156株

（注）期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております（2021年３月期第２四半期288,265株、2020年３月期253,590株）。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年３月期第２四半期263,807株、2020年３月期第２四半期262,328株）。

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料５ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２　2021年３月期の１株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,640,624株により算定しております。

３　当社は、2020年11月2日(月)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この説明会の音声については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の売上高は、130,947百万円(前年同期比4.6％増)と前年同期を上回りました。海外事業は、北米で2019年11月から連結範囲に加わったWarnock Food Products, Inc.（以下、Warnock社）が貢献したことに加え、中華圏におけるスナックとシリアルの販売が拡大しました。国内事業においては、スナック菓子において、インバウンドおよび国内旅行者の減少により、土産用商品の販売が減少しました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い外出機会が減少する中で、保存性の高い食品としてシリアル食品の需要が増加しました。また、2020年４月の株式会社ポテトかいつか（以下、ポテトかいつか）の買収が貢献し、結果として国内売上高は増収となりました。

営業利益は、13,013百万円(前年同期比1.8％減)となり、営業利益率は9.9％(前年同期比0.7ポイント悪化）となりました。海外の増収効果等が増益に貢献したものの、国内は高付加価値の土産用商品の売上減少が利益にマイナスに影響したため、減益となりました。経常利益は、為替差損175百万円を計上し、12,749百万円(前年同期比0.5％減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外合弁会社の利益拡大に伴う、非支配株主に帰属する四半期純利益の増加により、8,223百万円(前年同期比6.8％減)となりました。

	2020年３月期 第２四半期		2021年３月期 第２四半期		伸び率 (％)	現地通貨 ベースの 伸び率 (％)
	金額 (百万円)	構成比 (％)	金額 (百万円)	構成比 (％)		
国内売上高	103,121	82.3	104,285	79.6	＋1.1	＋1.1
海外売上高	22,124	17.7	26,662	20.4	＋20.5	＋24.1
合計	125,246	100.0	130,947	100.0	＋4.6	＋5.2

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高		2020年３月期 第２四半期	2021年３月期 第２四半期	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (％)
食品製造販売事業		124,566	130,399	＋4.7
国内食品製造販売事業		102,442	103,737	＋1.3
	国内スナック菓子	89,229	84,798	△5.0
	国内シリアル食品	12,599	15,325	＋21.6
	国内その他食品(甘しょ・馬鈴しょ)	613	3,613	＋489.0
海外食品製造販売事業		22,124	26,662	＋20.5
	海外スナック菓子	18,858	22,956	＋21.7
	海外シリアル食品	3,265	3,705	＋13.5
その他事業		679	548	△19.4
合計		125,246	130,947	＋4.6

（国内食品製造販売事業）

・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、前年同期比で減収となりました。

国内スナック菓子の製品別売上高は以下のとおりです。

売上高		2020年３月期 第２四半期	2021年３月期 第２四半期	
		金額（百万円）	金額（百万円）	伸び率（%）
ポテト系スナック		64,904	61,429	△5.4
	ポテトチップス	40,375	41,035	＋1.6
	じゃがりこ	18,604	16,587	△10.8
	Jagabee/じゃがポックル	5,924	3,806	△35.7
小麦系スナック		10,795	10,690	△1.0
	かっぱえびせん	4,950	4,713	△4.8
	サッポロポテト等	5,845	5,977	＋2.3
コーン系・豆系スナック		8,625	8,781	＋1.8
その他スナック		4,903	3,896	△20.5
国内スナック菓子　計		89,229	84,798	△5.0

＊　前期まで「その他スナック」に含まれていた一部の豆系スナックを、当期から「コーン系・豆系スナック」に含め、前期の数値も組み替えて表記しています。

・ポテト系スナックの売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年同期に比べ減収となりました。

－ポテトチップスは、消費者の巣ごもり需要によって、市場全体の高い需要が継続しています。第１四半期においては需要の変化に対応できず、一時的に供給調整を行い一部商品の休売を実施しましたが、 その後の販売再開により、前年同期に比べ増収となりました。

－「じゃがりこ」は、外出先やオフィスでの需要が減少した影響により販売が低調に推移し、前年同期に比べ減収となりました。

－「Jagabee/じゃがポックル」は、インバウンドや国内旅行者の減少の影響が前期第４四半期から継続しており、土産用商品「じゃがポックル」の売上が減少し、前年同期に比べ大幅に減収となりました。

・小麦系スナックの売上高は、「かっぱえびせん」等の商品の売上が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

・コーン系・豆系スナックの売上高は、第１四半期において巣ごもり需要の影響を受け、「マイクポップコーン」等のコーン系スナックが伸長し、前年同期に比べ増収となりました。

・その他スナックの売上高は、その他の土産用商品等の売上減少により、前年同期に比べ減収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、国内消費向け、中華圏の小売店舗向けともに伸長し、前年同期に比べ増収となりました。国内消費向けは、「フルグラ」定番品が、新型コロナウイルス感染症の影響による輸入原材料調達遅延に伴い一時的に休売した影響によって、前年同期並みとなりましたが、代替品として一定期間販売した「フルグラあっさりテイスト」が貢献したことに加え、健康や機能性に訴求した「フルグラ糖質オフ」等の商品への需要が継続し、伸長しました。

・国内その他食品（甘しょ・馬鈴しょ）

国内その他食品（甘しょ・馬鈴しょ）の売上高は、当期首から甘しょ事業を営むポテトかいつかが連結範囲に加わったことにより、前年同期に比べ大幅に増収となりました。甘しょ事業においては、主に焼き芋に適した糖度の高い品種のさつまいもの卸売が伸長しています。

（海外食品製造販売事業）

海外食品製造販売事業の売上高は、海外スナック菓子、海外シリアル食品ともに売上が伸長し、前年同期比で増収となりました。

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高	2020年３月期 第２四半期	2021年３月期 第２四半期	
	金額 （百万円）	金額 （百万円）	伸び率 （%）
北米	4,884	7,472	＋53.0
中華圏	6,131	7,881	＋28.5
英国	2,931	3,218	＋9.8
インドネシア	2,435	1,934	△20.6
その他地域	5,741	6,155	＋7.2
海外食品製造販売事業　計	22,124	26,662	＋20.5

＊1　中華圏：中国、香港

＊2　その他地域：韓国、タイ、シンガポール、豪州

・北米の売上高は、2019年11月からWarnock社が連結範囲に加わったことにより、前年同期に比べ大幅に増収となりました。既存事業においては、エスニック食品売り場向けの「かっぱえびせん」やポテトチップス等のスナック菓子の売上が伸長する中、豆系スナック菓子「Harvest Snaps」は主に一部顧客の売上減少の影響が大きく、減収となりました。

・中華圏の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、Ｅコマースの需要が高まっており、シリアル食品「フルグラ」の売上が伸長しました。また、スナック菓子においても、「じゃがポックル」や「Jagabee」を中心に売上が拡大しました。

・英国の売上高は、Seabrookブランドのポテトチップスの需要が増加し、前年同期に比べ増収となりました。

・インドネシアの売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大によるスナック市場低迷の影響を受け、ポテトチップスの売上が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

・その他地域の売上高は、主に豪州において、「Harvest Snaps」の伸長に加えて「Jagabee」の販売開始により売上が拡大し、前年同期に比べ増収となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ7,323百万円増加し、222,290百万円となりました。この主な要因は、ポテトかいつかの株式取得により現金及び預金が減少したものの、同社の買収によりのれんが増加したことによるものです。また、たな卸資産の増加は国内馬鈴しょの最大の産地である北海道で収穫期を迎えたことに伴う原料仕入高の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,173百万円増加し、50,508百万円となりました。この主な要因は、ポテトかいつかが新たに連結範囲に加わったことに伴い長期借入金が増加したことに加え、馬鈴しょの収穫期に伴い原料仕入高が増加したことにより、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は、主に利益剰余金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ2,149百万円増加し、171,782百万円となりました。

この結果、自己資本比率は74.1%となり、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント低下しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5,509百万円減少し、50,233百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ10,506百万円収入が減少し、14,648百万円の純収入となりました。この主な要因は、売上債権の回収額が銀行休業日による入金のずれにより増加した前年同期に比べ、減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が減少したものの、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が生じたことや、有形固定資産の取得による支出の増加により前年同期と比べ1,183百万円支出が増加し、11,751百万円の純支出となりました。連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出はポテトかいつかの買収によるものであり、有価証券の取得による支出の減少は、主にその資金を充当したことによるものです。

有形固定資産の取得による支出の主な内訳は、「カルビッツ フルグラ」の製造ライン新設など国内既存事業の拡充を目的としたものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として、短期借入金の純増減額が返済により減少となったことに加え、配当金の支払いによる支出が増加したことにより、前年同期と比べ2,331百万円支出が増加し、8,456百万円の純支出となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年３月期の連結業績予想につきましては、第２四半期連結累計期間の業績および最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内売上高の下振れによって、前回発表予想額を下回る見込みです。土産用商品については、期初計画においては当期末に向けて徐々に回復すると想定していましたが、インバウンドや国内旅行者の減少が継続しており、その回復が遅れていることから、売上の見通しを引き下げております。また、一般チャネルのスナック菓子についても、外出先やオフィスでの需要が弱い状況が続いており、携帯性のある一部商品の販売低調の影響を見込んでいます。

営業利益および経常利益は、上述の通り国内売上計画の下振れによる影響を見込むものの、新型コロナウイルス感染症拡大の中、国内の旅費等の経費抑制や国内外における販促機会の減少による販売費抑制等により、前回発表予想額を上回る見込みです。

なお、今回発表の修正計画の前提とした主な為替レートは、１米ドル＝106円、１中国元＝15.5円、１英ポンド＝136円、１インドネシアルピア＝0.0072円としております。

（単位：百万円）

	今回発表予想（A）	前回発表予想（B）	増減額（A－B）	増減率（%）
売上高	265,000	270,000	△5,000	△1.9
営業利益	26,500	24,500	＋2,000	＋8.2
経常利益	26,000	24,000	＋2,000	＋8.3
親会社株主に帰属する当期純利益	16,200	15,700	＋500	＋3.2

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2020年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,909	24,656
受取手形及び売掛金	29,718	29,340
有価証券	30,653	36,998
たな卸資産	11,205	15,323
その他	5,219	4,111
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	119,699	110,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,983	29,328
機械装置及び運搬具（純額）	29,604	29,938
土地	11,270	11,474
建設仮勘定	1,508	2,547
その他（純額）	1,351	1,678
有形固定資産合計	71,718	74,967
無形固定資産		
のれん	10,953	24,546
その他	2,080	1,955
無形固定資産合計	13,034	26,502
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,516	10,398
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	10,515	10,397
固定資産合計	95,267	111,866
資産合計	214,967	222,290

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2020年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,889	12,489
短期借入金	871	1,536
1年内返済予定の長期借入金	―	298
未払法人税等	4,657	3,718
賞与引当金	4,581	3,691
役員賞与引当金	119	136
株式給付引当金	83	―
その他	16,431	15,903
流動負債合計	36,633	37,773
固定負債		
長期借入金	―	3,315
役員退職慰労引当金	330	363
役員株式給付引当金	172	218
退職給付に係る負債	6,908	6,898
資産除去債務	527	696
その他	763	1,241
固定負債合計	8,701	12,734
負債合計	45,334	50,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,046	12,046
資本剰余金	4,779	4,777
利益剰余金	148,565	150,092
自己株式	△933	△1,045
株主資本合計	164,457	165,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	517
為替換算調整勘定	△833	△1,052
退職給付に係る調整累計額	△511	△534
その他の包括利益累計額合計	△1,215	△1,070
非支配株主持分	6,390	6,981
純資産合計	169,632	171,782
負債純資産合計	214,967	222,290

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
売上高	125,246	130,947
売上原価	69,241	73,732
売上総利益	56,005	57,214
販売費及び一般管理費	42,746	44,200
営業利益	13,258	13,013
営業外収益		
受取利息	69	51
受取配当金	21	21
持分法による投資利益	26	27
その他	202	126
営業外収益合計	319	227
営業外費用		
支払利息	62	51
持分法による投資損失	－	143
為替差損	544	175
減価償却費	61	64
その他	89	57
営業外費用合計	758	491
経常利益	12,819	12,749
特別利益		
固定資産売却益	6	12
投資有価証券売却益	1	42
関係会社清算益	－	142
助成金受入益	170	58
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	－	124
その他	3	－
特別利益合計	182	380
特別損失		
固定資産売却損	0	55
固定資産除却損	105	104
新型コロナウイルス感染症による損失	－	238
店舗閉鎖損失	136	4
その他	1	56
特別損失合計	243	459
税金等調整前四半期純利益	12,757	12,671
法人税、住民税及び事業税	3,191	3,185
法人税等調整額	674	839
法人税等合計	3,866	4,025
四半期純利益	8,891	8,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	421
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,820	8,223

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
四半期純利益	8,891	8,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	387
為替換算調整勘定	△1,307	△217
退職給付に係る調整額	△30	△23
その他の包括利益合計	△1,409	146
四半期包括利益	7,481	8,792
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,719	8,368
非支配株主に係る四半期包括利益	△237	423

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,757	12,671
減価償却費	4,060	4,367
のれん償却額	331	871
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6	△11
賞与引当金の増減額（△は減少）	△395	△907
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	53	14
株式給付引当金の増減額（△は減少）	5	△4
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	45	46
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△205	△96
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	12	△10
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	38	33
受取利息及び受取配当金	△91	△73
支払利息	62	51
為替差損益（△は益）	397	437
関係会社清算損益（△は益）	－	△142
助成金受入益	△170	△58
持分法による投資損益（△は益）	△26	116
投資有価証券売却損益（△は益）	△1	△42
固定資産売却損益（△は益）	△6	42
固定資産除却損	105	104
売上債権の増減額（△は増加）	11,973	1,015
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,306	△2,931
仕入債務の増減額（△は減少）	2,749	2,419
未払金の増減額（△は減少）	△785	△1,366
その他	1,584	2,375
小計	30,183	18,920
利息及び配当金の受取額	89	75
利息の支払額	△60	△52
法人税等の支払額	△5,057	△4,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,154	14,648

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,832	△4,602
有形固定資産の売却による収入	16	16
無形固定資産の取得による支出	△305	△256
有価証券の取得による支出	△34,824	△13,998
有価証券の償還による収入	28,441	20,186
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	5	67
貸付けによる支出	△700	△850
貸付金の回収による収入	800	700
定期預金の預入による支出	△944	△588
定期預金の払戻による収入	623	791
差入保証金の差入による支出	△54	△78
差入保証金の回収による収入	45	22
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△13,208
助成金の受取額	170	58
その他	△1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,567	△11,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	38	△1,500
長期借入金の返済による支出	－	△149
自己株式の取得による支出	△0	△191
ストックオプションの行使による収入	3	－
非支配株主からの払込みによる収入	323	139
配当金の支払額	△6,422	△6,681
非支配株主への配当金の支払額	△11	△12
リース債務の返済による支出	△55	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,125	△8,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△308	49
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,153	△5,509
現金及び現金同等物の期首残高	35,425	55,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,579	50,233

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。